

府中市議会議員 増山あすか

建設環境委員会 副委員長 / 市庁舎建設特別委員会 委員

昭和52年生まれ 国際基督教大学高等学校卒業 中央大学 法学部 卒業
卒業後、マニライフ生命保険、ソフトバンクなど企業の法務部に勤務。自民党政経塾9期卒業。

<http://asuka-masuyama.com>



自民党

平成30年度一般会計予算 956億円 賛成多数で可決！

みなさんの税金、何に多く使われているのでしょうか？（上位8項目）



歳入は？

- ・ふるさと寄付金の影響で 前年比-3億円
- ・国の税制改正（地方消費税交付金）で 前年比-6億円
- ・一方、平和島競艇事業が売上増を見込み 前年比+8億円の予定です



大田区平和島のボートレースは府中市で運営しています！

要望してきた事項の予算反映

待機児童解消として

H31年4月開設を目指し、認可保育所3施設分（約7億円）
 認証保育所2施設分（約6千万円）の予算を確保しました。
 また、保育士不足解消に向けての処遇改善とした「保育士等キャリアアップ補助金」の増額と、保育士の復職にあたり「ベビーシッター利用の補助金」を新設することになりました。



教育に関する寄付金の活用

今まで、現金による寄附の受付は福祉分野のみでした。教育現場でも寄附を活用した楽器等の備品充実をはかる為、制度化を訴えてきました。4月より基金が創設されたことで、現金による寄附が可能になり、寄附者の意向指示や寄附金控除が受けられるようになり、早速H30年度は50万円の寄附金で各学校のトランペット等が充実する予定です。

自主防災連絡会情報誌の全戸配布

地域毎の防災意識を高めるため、文化センター圏域ごとに行っている地域自主防災連絡会の情報誌を作成し、全戸配布を行います。



ICT教育の充実として

昨年東京都の指定を受けて実証授業を行った「第三小学校」「矢崎小学校」「第八中学校」において、先行して各教室に大型ディスプレイを設置し、生徒用のタブレット端末を40台導入、ICT支援員を配置します。

私立幼稚園を通じたの支援

配慮を要する子どもや、障害のある子どもの私立幼稚園における受入体制について、保護者や幼稚園協会から要望を受けてきました。本年より一人当たり月額4万円を上限に、新たに私立幼稚園への支援を行い、受入体制の充実を図ります。

その他の4月からの新規事業

■ 妊娠期からの支援を！

■4月2日から、母子健康手帳は、桜通り沿いの「保健センター」のみでの交付になります。理由は、市との最初の出会いである母子手帳交付時に、看護職が**全ての妊婦さんと面接することとし、**妊娠期からの切れ目のない支援を目指すためです。



■ プラネタリウムリニューアル

■5月2日郷土の森博物館のプラネタリウムがいよいよリニューアルオープンします。今回のリニューアルでは、市内事業者であり有名な(株)五藤光学研究所から**1億円相当の投影機器を寄附**いただき、総事業費は約4億円に圧縮されました。



■ 公園費の充実

■9.6億円と2.2億円予算を増額し、定期的な草刈や樹木の剪定と併せて老木および大径木の間引きを実施します。
■小柳公園・押立公園・府中公園のトイレ改修をおこないます。
■白糸台の消防署出張所跡地は防災機能を持たせた広場として整備を行います。



一般質問を通じての政策提案は・・・

① 介護者側に焦点をあてた「心が折れないための施策」を提案

介護を必要とする府中市民は、平成27年度から1万人を越えました。本人の苦勞は言うまでもないことですが、その本人を「在宅で介護する家族の負担」は想像以上のものがあります。ひとりで抱え込まずに相談できる体制作りやお願いできる部分は人を頼る地域包括ケアシステムの構築と周知が必要です。(なお、特養は希望しても待機者がかなり多い)

■ 増山 ワンストップの相談、手続申請窓口が必要！

介護保険制度と障害福祉制度は専門用語も多くて分かりづらい。また、窓口をたらい回しされることが多いため。

■ 市 関係課において具体的な検討を進めていきたい

■ 増山 市民に渡す通知書や案内は、大きな字で読みやすく理解しやすく改善すべき！

■ 市 市独自サービスの案内など、封筒のサイズから通知書の枚数や文字の大きさに制約があり分かりづらいところがあると認識している。改善について検討したい。

■ 増山 介護者の負担を軽減してくれるサービスについて介護者と接する機会が多いケアマネジャーからもっと積極的な提案をしてほしい！

介護者の中には働いている方も多く、公的な支援だけでなく民間のサービスも利用できるものは利用したいと考えている人が多数派。忙しい中で自力でサービスを探すのは大変なため。



■ 市 ケアマネジャーの資質向上と情報共有に努めたい

■ 増山 ホームページをもっと充実させて情報発信を！

日中仕事を持っている介護者は、電話で問い合わせる探すことができず、仕事が終わった夜間にホームページで検索することが多いため

■ 市 市のホームページや各地域包括支援センターのページもより多くの情報を掲載するよう改善していきたい

② 街路樹の適正管理



街路樹は、目的をもって、お金をかけて植えたものであり、市の財産であることから、枯れないように、また適正な形状を維持するよう適正に管理する必要があります。また、低木については、歩行者が安全に通行できるよう大きさや高さを維持する必要があります。

■ 増山 品川街道や浅間山通りなどは、狭い歩道につじの低木が広範囲に広がっている為、車椅子やベビーカーが通行しづらい。

■ 市 現在は2メートル以下の歩道でつじが枯れた場合のみ、植栽マスを埋めて有効幅員を広げている。今後は、試験的に植栽マスを減らして歩道の幅員を広げることを実行した上で計画的な実施に向けた検討をしていく。

気になることから・・・「学校体育館は寒すぎる！」

3月20日は全市立中学校、3月23日は全市立小学校の卒業式でした。第六中学校の体育館は地下にあり、また暖房機能が設置されているため、なんとか寒さに耐えることができましたが、第四小学校の寒さといったら・・・せっかくの大事な式典に集中できないくらい寒かったです。学校は、災害時の指定避難場所ともなっていることを考えると、これから始まる学校の改築にあたっては、よく検討が必要だと実感しました。

